

継がれてきた想いが
この街をつくっている。

つくる人
守る人
活かす人
直す人
来る人
また来る人

昭和六十年代にいちど衰退しかけた旧市街地を、街並み保存と商店街活性化との両輪で「蔵の街」として復活させた街、川越。川越でも、ひととき大きな蔵を活用したホールで、再生運動の中心となった人の話を直に聞き、未来に住み継ぐ木の家づくりについて考えるシンポジウムを開催します。

photo: AYABE Takaji design: MOCHIDOME Kazuya

職人がつくる木の家ネット 第八期総会 公開シンポジウム

未来に住み継ぐ木の家づくり

<http://kino-ie.net/kawagoe/>

11月15日(土) 14時~17時半 (13時開場)

会場：茶陶苑 大蔵 (定員200名 要予約 裏面に申込書有)

参加費：1000円 (資料代として)

※当日朝10時より、50名限定で「蔵の街歩き」をします。要予約。

主催：職人がつくる木の家ネット (小江戸川越大会実行委員会)

共催：NPO法人川越蔵の会・これからの木造住宅を考える連絡会

協力：伝統技法研究会

後援：埼玉県・川越市・川越市教育委員会

問い合わせ：木の家ネット・小江戸川越大会実行委員会

E-mail: kinoie_saitama@yahoo.co.jp TEL: 04-2966-6609 (宮越)

【基調講演】家を住み継ぎ まちを元気に

山崎正博 亀屋山崎茶店 茶陶苑代表

【報告】川越・蔵の町の魅力

守山 登 NPO法人川越蔵の会

【パネルディスカッション】長持ちする木の家づくり

林業： 山中 敬久 (有) 角仲林業・NPO 法人伝統木構造の会

棟梁： 和田 勝利 (株) 和田工芸・NPO 法人民家リサイクル協会

棟梁： 綾部 孝司 (有) 綾部工務店・職人がつくる木の家ネット

建築士： 小林 一元 小林一元建築設計室・職人がつくる木の家ネット

行政： 越海興一 国土交通省木造住宅振興室長

コーディネーター： 赤堀楠雄 林業ジャーナリスト



茶陶苑 大蔵
川越市仲町2-6
<http://www.chatouen.com/>
西武新宿線 本川越駅 徒歩10分
東武東上線・JR川越駅 徒歩20分

大工棟梁の手による蔵づくりの木組みと、左官仕事による美しい塗壁とが融合した蔵の街・川越は、歴史的風致とレトロモダンな雰囲気を楽しむながら散策や買い物を楽しめる街として、あらゆる年齢層の人を惹き付けてやみません。川越が「蔵の街並み」となったのは、明治26年の大火の後のこと。街の三分の一を焼失した反省から、街全体を防火性の高い「土蔵造り」として再建したためです。

この蔵の街並みが明治期からずっと保たれてきたのかというと、じつはそうではありません。高度経済成長期、日本中がそうだったように、川越でも、昔ながらの風景が櫛の歯が抜け落ちるように失われかけたことがあります。それを今のようによみがえらせたのは、川越を元の美しい街として次世代に渡したいという地元の方たちの熱い想いでした。よみがえったのは、街並みだけではなく。昔ながらのよき暮らし、季節感を大切に作る心、人と人とのふれあいといった、街並みを支える精神そのものがいきづいていることが、川越の魅力であり、底力です。

今回のシンポジウムでは、土蔵造りの店蔵を積極的に活用することで川越に住むよろこびを獲得した茶陶苑のご主人と「蔵の町並みづくり」を進める「川越蔵の会」の方のお話を聞いた後、未来に住み継ぐことのできる、長持ちする木の家づくりについて、さまざまな立場から見たパネルディスカッションを行います。あなたも触れてみませんか。この川越の街並みを支え、盛り立てて来た人々の精神、そして魅力あふれる木の家を住み継ぐことのすばらしさに。そしてぜひ知ってください！この埼玉でだって、長持ちする木の家づくりが今でも十分できるんだという可能性を。

■ 職人がつくる木の家ネット
http://kino-ie.net/

近くの山の木を使い、日本に伝えられて来た職人の手の技術による家づくりを実践する大工・工務店、設計士、山の関係者が集まっている会。顔の見える関係を大事にしなが、住まい手向けの発信や情報交換など、木の家づくりがしやすいするための活動を続けている。

■ NPO 法人 川越 蔵の会
http://www.kuranokai.org/

さまざまな立場の人が対等な立場で「住民主体による町づくり」を進める会。歴史的資産の保存や観光化のみを優先させるのではなく、商店街の活性化、住環境の向上などにも目を向け、川越の文化を守り育てていくことを大事に考えている。

■ これからの木造住宅を考える連絡会

職人がつくる木の家ネット、(財)住宅産業研修財団優良工務店の会、NPO 伝統木構造の会、有限責任中間法人日本曳家協会、NPO 法人日本民家再生リサイクル協会、NPO 法人緑の列島ネットワークの6団体で、伝統構法の家づくりができるように、国土交通省へのはたらきかけなどを行っている。

ここは建物の寿命が人の一生より長い街。 そんな街で、木の家の話



2008 アースデイ・イン川越に木の家ネットメンバー有志が出展します

1970年にアメリカで生まれたアースデイ。色々な表現で地球環境への関心をアピールするこのイベントに木の家ネットメンバー有志が出展します。環境に優しい素材や持続可能な家づくりを巨大模型や大工さんの実演を通して楽しくお伝えします。「2008 アースデイ・イン川越」に是非ご参加ください。

■ 日時：2008年11月9日(日)10時～15時 雨天決行 ■ 会場：旧川越織物市場

シンポジウム参加申込書 FAX：048-432-8651 kinoie_saitama@yahoo.co.jp

下記の項目をご記入の上、FAXかメールにてお申込みください

- | | | | |
|-------------------------------|----------------------|--------|---|
| ■ お名前 | ■ メールアドレス | ■ 年齢 | 才 |
| ■ お住まいの区市町村 | ■ 所属する団体等があればご記入ください | ■ 参加人数 | 名 |
| ■ シンポジウムの前に川越の街歩きに | 参加希望 | 参加しない | |
| ■ 木の家づくりに関して知りたい事柄があればご自由にどうぞ | | | |